

SYMPOSIUM

# サステイナブル・ *Sustainable* ガストロノミー *Gastronomy* とは？

食、生物多様性、  
そして持続可能な未来

伏木亨

Fushiki Toru

井上雅史

Inoue Masashi

池端準也

Ikehata Toshiya

西田宏平

Nishida Kohei

友廣裕一

Tomohiro Yutchi

小山田徹

Koyamada Toru

友部遼

Tomobe Haruka

石井健一郎

Ishii Kenichiro

並河杏奈

Namikawa Anna

橋本遥

Hashimoto Haruka

2025.3.12 Wed.

10:00-17:30 9:30開場

京都大学 吉田キャンパス  
国際科学イノベーション棟  
シンポジウムホール(西館5階)

定員150名 | 入場無料

対象者 サステイナブル・ガストロノミーに  
関心のある学生/研究者/  
ビジネス関係者/行政関係者/一般市民の皆様

主催 京都大学成長戦略本部  
共催 関西スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)



京都大学



KSAC

問い合わせ先 京都大学成長戦略本部統括事業部  
エコシステム構築領域 イノベーション・マネジメント サイエンス (IMS) 部  
e-mail: [ims@saci.kyoto-u.ac.jp](mailto:ims@saci.kyoto-u.ac.jp)



伏木亨



井上雅史



池端準也



西田宏平



友廣裕一



小山田徹



友部遼



石井健一郎



並河杏奈



橋本遥

### 伏木亨

Fushiki Toru

甲子園大学学長/京都大学名誉教授  
1953年舞鶴市生まれ。1975年京都大学農学部卒業、1994年より京都大学農学研究科食品生物科学専攻教授。2009年より京都大学白眉センター長（3年間）。2015年京都大学名誉教授。2021年より甲子園大学副学長に就任し2023年より甲子園大学学長に就任

### 井上雅史

Inoue Masashi

井上味噌醤油株式会社 代表取締役  
平成3年3月 徳島県立鳴門高等学校 卒業/平成8年3月 神戸芸術工科大学 工業デザイン学科 卒業/平成9年9月 モンゴル国立大学 モンゴル語学科 修了/平成9年9月 井上味噌醤油株式会社 入社/平成11年9月 井上味噌醤油株式会社 代表取締役 就任/令和4年5月 一般社団法人木桶仕込み味噌輸出促進コンソーシアム 理事就任

### 池端準也

Ikehata Toshiya

有限会社ボムデーブ シェフ  
輪島市生まれ、輪島育ち。2014年より能登、輪島にて「能登の素晴らしさをレストランを通してお伝えする」をコンセプトにした「ラトリエ・ドゥ・ノト」をオープン。ミシュラン1つ星、グリーンスター、destination restaurant2022など受賞。2024年1月1日の震災によりお店は全壊。その後輪島で炊き出し活動を行っている

### 西田宏平

Nishida Kohei

株式会社TOWING 代表取締役  
1993年生まれ。名古屋大学大学院環境学研究科修了後、(株)デンソーにて研究開発職に従事。同社に所属しながら副業でTOWINGを立ち上げ、S-Booster2019などの受賞を経て、2020年11月に独立。累計10億円の資金調達を実施し、TOWING社が掲げる「未来永劫続く食料生産システムの構築」に向けて尽力している

### 友廣裕一

Tomohiro Yuichi

合同会社シーベジタブル 共同代表  
大学卒業後、日本全国70以上の農山漁村を訪ねる旅へ。東日本大震災後は、宮城県石巻市・牡鹿半島の漁家の女性らと共に「ぼほら食堂」や「OCICA」などの事業を立ち上げる。2016年に共同代表の蜂谷潤と共に合同会社シーベジタブルを創業。世界初となる地下海水を利用した「すじ青のり」の陸上栽培を事業化し、障害のある方や高齢の方々と共に香り高い青のりを栽培

### 小山田徹

Koyamada Toru

京都市立芸術大学美術学部教授  
京都市立芸術大学に在籍中にパフォーマンスグループdumb typeを友人達と立ち上げ、1998年までメンバーとして活動。その後、人々が集まり、様々な物や事がシェアされる共有空間を美術を入口に創る活動を始める。近年は焚き火を核とした場作りを各地で行う。2025年4月より京都市立芸術大学理事長、学長就任予定。

### 友部遼

Tomobe Haruka

東京科学大学 環境・社会理工学院 助教  
2020年に京都大学大学院農学研究科地域環境科学専攻博士後期課程を修了した後、豊田工業高等専門学校環境都市工学科助教を経て現職。植物と地盤の力学的相互作用問題に対する材料試験法および数値解析手法の開発を軸として、植物-水-大気-土壌系のシミュレーション基盤創出に係る研究を推進している。また、2023年8月には中森農産株式会社の非常勤取締役に就任

### 石井健一郎

Ishii Kenichiro

株式会社Seed Bank. 代表取締役/農学博士/微細藻類ハンター  
2012年 京都大学大学院農学研究科 博士号取得/2012-2014年 同農学研究科 研究員/2014-2018年 京都大学大学院地球環境学堂 研究員/2018-2022年 京都大学大学院 人間・環境学 研究科 研究員/2015年2月 京都大学起業家養成プログラム(GTEP)優勝/2017年2月 株式会社Seed Bank設立

### 並河杏奈

Namikawa Anna

編集者/ライター/一般社団法人Fogin 代表理事  
京都府亀岡市生まれ。関西大学政策創造学部卒。2016年より地元を拠点に活性化の取り組みに携わる。これまで、商店主とのイベント企画、コミュニティ映画制作、地方でのライフスタイルを伝えるイベント企画、取材・執筆などを行う。2018年より株式会社ツナクム(京都移住計画)にて京都府の移住促進事業に参画

### 橋本遥

Hashimoto Haruka

株式会社Convallaria 代表取締役  
滋賀で生まれ田植えを手伝う幼少期を過ごし、大学で微生物×遺伝子組換え研究に没頭し、現在は「サイエンスをビジネスに」をミッションに事業を展開。バイオテック・アグリテックを中心にスタートアップ投資・育成、産学連携プラットフォーム「Seeds-Hub」を京都大学らと共に提供

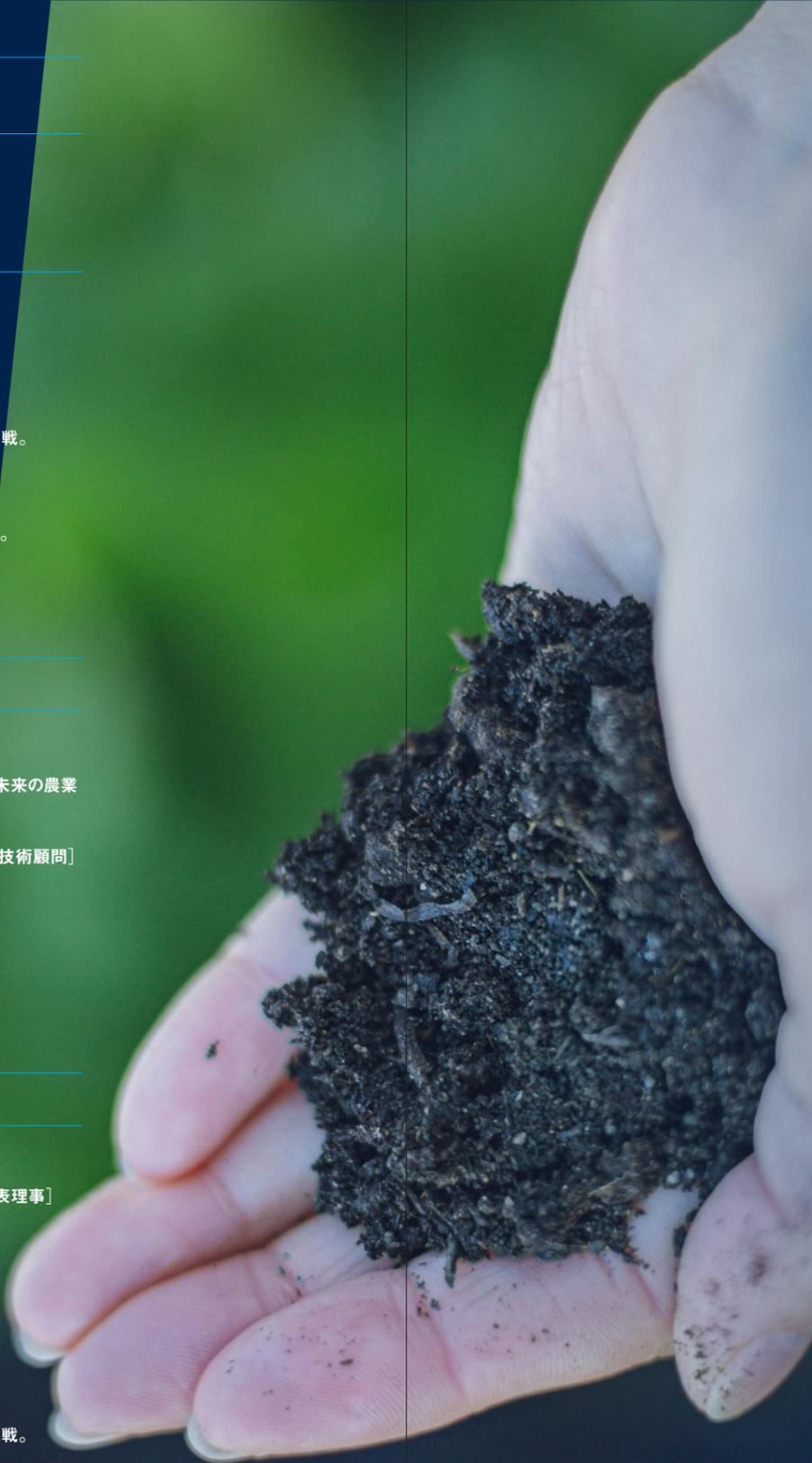


プロフィール全文はWebに掲載中  
<https://www.saci.kyoto-u.ac.jp/event/ims/16318.html>

時間	登壇者
1 10:00-10:15	<b>開会の挨拶</b> 室田浩司 [京都大学成長戦略本部 本部長]
2 10:15-10:45	<b>基調講演</b> <b>和食の美味しさとサステイナブル・ガストロノミー</b> 伏木亨 [甲子園大学学長/京都大学名誉教授]
3 10:45-12:30	<b>セッション1</b> <b>100年先を見据えてよりよく食べる</b> モデレーター 伏木亨 [甲子園大学学長/京都大学名誉教授]  井上雅史 [井上味噌醤油株式会社 代表取締役]   味噌醸造を通じた伝統の復興と未来の挑戦。  友廣裕一 [合同会社シーベジタブル 共同代表]   未利用海藻の活用と新しい食文化の創造。  石井健一郎 [株式会社Seed Bank. 代表取締役/ 農学博士/微細藻類ハンター]
4 12:30-13:45	<b>ランチ休憩</b>
5 13:45-15:30	<b>セッション2</b> <b>100年先を見据えてよりよく生きる</b> 西田宏平 [株式会社TOWING 代表取締役]   高機能ソイル技術を活用した土壌改善と未来の農業  友部遼 [東京科学大学 助教/中森農産株式会社 技術顧問]   農業の技術革新と日本の食料安全保障  石井健一郎 [株式会社Seed Bank. 代表取締役/ 農学博士/微細藻類ハンター]  小山田徹 [京都市立芸術大学 次期理事長予定者]
6 15:30-15:45	<b>休憩</b>
7 15:45-17:15	<b>セッション3</b> <b>100年先をよりよく見とおす</b> モデレーター 並河杏奈 [編集者/ライター/一般社団法人Fogin 代表理事]  小山田徹 [京都市立芸術大学 次期理事長予定者]  池端準也 [有限会社ボムデーブ シェフ]  井上雅史 [井上味噌醤油株式会社 代表取締役]   味噌醸造を通じた伝統の復興と未来の挑戦。
8 17:15-17:30	<b>閉会の挨拶</b> 木谷哲夫 [京都大学成長戦略本部 イノベーション マネジメント サイエンス部 特定教授]

司会 橋本遥

企画設計 中原有紀子[京都大学成長戦略本部 イノベーション マネジメント サイエンス部 研究員]



本シンポジウムは、食・住・環境の持続可能性を多角的に考察し、サイエンス・伝統知・テクノロジー・ビジネスの融合による新たな循環型社会の構築を目指します。サステイナブル・ガストロノミーの本質を探求し、自然環境・生物多様性の保全、文化的景観の維持、人間の健康に焦点を当てた持続可能なビジネスの創出と持続可能な未来について考えます。

# Eat well for the next 100 years

100年先を見据えて  
よりよく食べる



# Live well for the next 100 years

100年先を見据えて  
よりよく生きる



# Look ahead to the next 100 years

100年先を  
よりよく見とおす

